

～ 11月9日は「119番の日」～

「第2回高齢者福祉施設等救急講習会」を開催しました。

相模原市消防局では、11月9日の「119番の日」に、高齢者福祉施設等（以下「施設」という。）の職員を対象とした救急講習会を開催しました。

本市における救急出場件数は過去最高を記録するとともに、高齢者福祉施設等（以下「施設」という。）からの救急要請も、増加傾向にあり、重症化しやすい傾向があります。

そこで、施設でできる救急事故を予防するための取組み「予防救急」をご紹介するとともに、施設職員の方と救急隊が円滑に連携し、迅速な救急対応が行えるよう、「第2回高齢者福祉施設等救急講習会」を開催しました。

講習会では、「高齢者福祉施設等における救急ガイドブック」に基づき、説明を行うとともに、ガイドブックに記載されている「救急連絡シート」を活用した施設と救急隊との対応を、実際に消防職員が実演を交えて、説明を行いました。

講習会の参加者からは、「予防救急の大切さを、強く認識した。」「いざという時の救急対応や救急隊の活動について、講義だけでなく実演を見ることで、さらに理解が深まった。」との声が多くありました。

今後も、救える命を救うために、施設と救急隊との連携を強化するとともに、予防救急を推進していきます。

高齢者福祉施設等における救急ガイドブック

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shobo/kyukyujoho/032262.html>



< 講習会風景 >



問い合わせ先
消防局救急課
042-751-9142